

## 送付された細胞の再培養方法

### 【融解時の注意】

凍結チューブはごくまれに破裂する場合があります。融解時には安全のため、手袋とフェースガードを装着することをお勧めします。

### 【方法】

予め 37°C に温めておいた温水中で細胞を素早く融解する。

\* 半分ほど解けたら次の操作に進んでください。

↓

凍結チューブの外側を、アルコールを染み込ませたキムワイプなどでよく拭き開封する。

↓

細胞懸濁液をピペッティングし、予め培地 10ml を入れておいた遠心チューブに移して軽く混ぜる。

↓

1300rpm、5min 室温で遠心分離する。

↓

上清を除き、適当量の培地を加えて細胞浮遊液を培養容器に播種する。

炭酸ガス培養器で解放系で培養する。

### 播種の目安

チューブ 1 本 → 60mm ディッシュ 2 枚

\* 但し、生存率 50% 以下の場合や細胞数が少ない場合は、60mm ディッシュ 1 枚、または 12 ウェルの培養プレートなど小スケールで培養してください。

極端に低い密度で細胞を播種した場合、細胞が育たなくなる場合もありますのでご注意ください。

↓

翌日、細胞の状態を観察する。

\* 3~4 日以内に培地交換または継代を行いますが、付着が不十分な場合や、光沢のある細胞が少ない場合は培地交換等を行わずに培養を続け、一週間程度様子を見てください。